

海洋漁業科学館 中期経営目標 取組状況（平成24年度）

中期経営目標（実施期間 H24～H26）

- ① 入館者数を3年間で10%増加させます。
- ② 利用者アンケートによる満足度は、引き続き90%以上を維持します。
- ③ 利用者1人あたりの一般財源投入額を3年間で10%削減します。

1 中期経営目標の進捗状況

測定指標	基準値 ※	実績値 (H24)	目標値 (H26)
① 入館者数	5,402人	6,655人	6,000人
② 利用者アンケートによる満足度	92%	94%	90%以上
③ 利用者1人あたりの一般財源投入額	710円	497円	640円

※ ①はH20～22平均。②はH23。③は一般財源（H20～22平均）/利用者（H20～22平均）とした。

2 平成24年度における主な取組内容

（1）施設の利用促進及びサービス（満足度）向上に向けた取組

平成24年度事業で水槽を購入し、水産総合センターの各事業所での生産機能を活用したヒラメやサケの稚魚、サザエの生態観察や、アユつかみ取り、ホンモロコ釣りなど、親子で楽しみながら海や川の魚の生きた知識が学べる企画展（年13回）を開催したほか、月替わりの工作教室（イカとっくり作り、ガラス玉編み込み等）といった体験プログラムを提供した結果、利用者（入館者）数が増加しました。

「いしかわ自然学校」のパンフレットやホームページへの情報提供、奥能登地区の「道の駅」などへのチラシの設置を行うとともに、水産総合センター内のホームページの更新頻度の向上（3か月に1回程度→月1回更新）などPRに努めた結果、ホームページを見て来館したと言う県外の方も見受けられました。

（2）施設運営の効率化に向けた取組

節電・節水等の経費節減により、効率的な施設運営に努めた結果、施設管理費が減少しました。

3 平成25年度における取組内容の見直し等

冬期利用者の増加に向けたPR策を検討します。

参考資料

1 施設の利用状況

(1) 利用指標（利用人数、稼働率などの状況）

指標	H 2 2	H 2 3	H 2 4	備考（増減理由等）
利用者数 計	4,789 人	6,433 人	6,655 人	体験プログラム、企画展の開催により利用者数が増加しました。
うち有料利用者	2,047 人	2,313 人	2,486 人	
工作教室利用者	1,381 人	1,218 人	1,292 人	
利用団体数	25 団体	40 団体	36 団体	

2 収支の状況

（単位：千円）

		H 2 2 決算	H 2 3 決算	H 2 4 決算	H 2 5 予算
歳出	職員費	3,527	4,827	4,834	4,841
	施設管理費※	4,589	3,985	3,725	3,808
	工作教室開催費	22	72	69	0
	計	8,138	8,884	8,628	8,649
歳入	入館料	395	449	486	450
	国庫補助金	0	0	0	0
	一般財源	7,743	8,435	8,142	8,199
	計	8,138	8,884	8,628	8,649

※ 施設管理費の一部（警備委託料や光熱水費）は、水産総合センターと区分できないため、過去に調べた比率で案分した額としています。

3 利用者 1 人あたりの一般財源投入額

	H20~22 平均	H 2 3	H 2 4
一般財源投入額 ①	7,390 千円	8,435 千円	8,142 千円
職員費を除いた額 ①'	3,838 千円	3,608 千円	3,308 千円
利用者数 ②	5,402 人	6,433 人	6,655 人
利用者 1 人あたりの一般財源投入額 ① ÷ ②	1,368 円	1,311 円	1,223 円
職員費を除いた額 ①' ÷ ②	710 円	561 円	497 円